

(2) 権利擁護の推進

① これまでの取組

少子高齢化が進展する中、判断能力が不十分な高齢者や知的障害者・精神障害者等を支援するため、国や地方自治体のほか、地域においても権利擁護の推進が求められています。

本庄市では、判断能力が低下した人やその家族からの相談に対応するため「本庄市成年後見サポートセンター」を設置しています。センターでは相談窓口を開設する等、対象となる人の状況を聞き取りながら、成年後見制度をはじめ、その人に合った支援について考えるサポートをしています。

また、市内では本庄市社協のほかNPO法人等が「法人成年後見事業」に取り組み、法人として成年後見人や保佐人、補助人として、判断能力が不十分な人の支援を行っています。

このほか、本庄市社協では、もの忘れなどのある人の生活上の援助活動を行うため、埼玉県社会福祉協議会（以下「埼玉県社協」といいます。）からの委託により「日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業／愛称：あんしんサポートねっと・あんサポ）」を実施しています。事業実施にあたり、一定の研修を受けた生活支援員等が、対象者の日常的金銭管理や福祉サービス利用援助等を行っています。

権利擁護の推進のためには、地域で認知症等についての理解を広め、当事者やその家族を支えるための環境を整えることも重要な取組の一つです。市及び地域包括支援センターでは「認知症サポーター養成講座」を開催して、認知症に対する知識と理解を持ち、偏見を持たずに地域で認知症の人やその家族に対して手助けができる人の養成に努め、**幼児から大人まで幅広い世代を対象に、学びの機会を提供しています。また、地域では、専門職やボランティアが「オレンジカフェ（認知症カフェ）」や「認知症家族の会」、「ケアラズカフェ^{viii}」等を定期的に開催し、認知症の人やその家族、介護者等の市民が集い交流する場づくりに取り組んでいます。地域における様々な取組を通じて、認知症等の判断能力が不十分な人を支えるための環境づくりが進められています。**

^{viii} 介護に携わる人たちが集い、情報交換や息抜き等ができる場のこと。

② 今後の取組

引き続き本庄市成年後見サポートセンターにより、判断能力に不安を感じる人への相談支援、サポートを提供します。

また、地域における認知症の人やその家族等を支援するための取組を推進します。

図表 主な取組

取組名称	概要	実施主体
① 成年後見サポートセンターによる相談支援等	成年後見制度に関する相談・支援や情報提供、市民後見人の養成等を行います。 また、パンフレット等を配布・設置し、啓発を行うほか、市民向け講演会を開催し、制度の周知等を行います。	本庄市社協 本庄市
② 福祉サービス利用援助事業(あんサポ)	もの忘れのある高齢者や、知的・精神障害のある人などが、安心して生活が送れるように、生活支援員が定期的に訪問して必要な支援を行います。	本庄市社協 埼玉県社協
③ 認知症サポーター養成講座の開催	認知症に対する知識と理解を深め、地域で認知症の人やその家族に対して支援することができる市民を育成します。本庄市社協では、地域包括支援センターとしての立場から、認知症サポーターの養成に取り組み、 地域における理解の促進に努めます。	本庄市社協 本庄市 関係機関
④ オレンジカフェ ・認知症家族の会・ケアラーズカフェ等の開催	認知症の人やその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集い交流する場としてオレンジカフェ(認知症カフェ)等を設けます。本庄市社協では、地域包括支援センターとしての立場から、認知症の人やその家族等への支援に取り組みます。	本庄市社協 本庄市 地域団体 関係機関

図表 成果指標

指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)
成年後見相談件数(一般・専門相談計)	60件	72件
あんサポ利用者数	18人	18人
あんサポ生活支援員数	4人	10人